

北九州市教育大綱

～ 子どもたちのシビックプライドの醸成 ～

I 『北九州市子どもの未来をひらく教育プラン』の推進

北九州市教育の目標

「思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ」

- ◎自分の可能性を信じ、夢や希望をもつ子ども
- ◎自分の力でやり遂げ、自立する力をもつ子ども
- ◎思いやりの心もち、行動できる子ども

子どもの未来をひらく教育を支える力

学校、家庭、地域それぞれがもつ教育力を発揮し、連携して子どもの教育を推進

II 市全体で子どもの教育を支える4つの柱

1. 本市が誇る文化芸術・スポーツ、歴史などの特性を活かした教育の推進

- 本市ゆかりの先人や伝統文化など、地元の誇りとする文化を継承する取組みの推進
- 音楽や美術など文化芸術、スポーツに触れる機会の充実
- 将来の文化芸術、スポーツを担う人材の育成
- 環境未来都市としての独自性を活かした環境教育
- 地元企業などと連携・協力したキャリア教育

2. 市民総ぐるみで子どもの教育を支える取組みの推進

- 学校、家庭、地域の更なる連携の推進
- 小学校応援団など企業と連携した取組みの推進
- 家庭、地域や関係機関等と連携した防災・安全に係る取組みの推進
- 地域での子どもの居場所づくり

3. 特別な配慮を必要とする子どもの支援

- 障害のある子どもへの支援
- いじめ、不登校等へのきめ細やかな対応
- 子どもの貧困対策

4. 少子・高齢化社会を踏まえた公共施設マネジメント

- 行財政改革大綱を踏まえた公共施設マネジメント

平成27年11月〇〇日

北九州市長

『北九州市教育大綱』策定にあたって

平成27年4月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正施行され、「総合教育会議」を設置し、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図るとともに、市長が教育に関する「大綱」を策定し、教育政策に関する方向性を明確化して、教育施策の総合的な推進を図ることとされました。

さて、国においては、我が国が直面する人口減少・超高齢化、東京一極集中という課題に取り組むため、平成26年末に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されるなど、地方創生に向けた政策が本格的に進められようとしています。

本市においても、人口減少と少子高齢化という課題に直面しており、国の方針と歩調を合わせ一体的な対応を行うため、平成27年10月に策定した「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、全力で取り組んでいます。

地方創生の取組みを進める中で、市長として、シビックプライドの醸成が大切であるとの思いを強くしたことから、「北九州市教育大綱」として、子どもたちのシビックプライド醸成に向けた基本方針を掲げました。

北九州市には、産業、環境、文化芸術、スポーツなど、多くの分野において、本市ならではの特色や魅力が多くあります。平成27年7月には、官営八幡製鐵所関連施設が世界遺産に登録されるなど、北九州市は魅力の詰まった素晴らしいまちです。

子どもたちには、本市の魅力を理解してもらい、本市に対する誇りや愛着を感じ、「北九州市で暮らしたい、学びたい、働きたい。」という気持ちを持ってもらいたいと考えています。

生まれ育ったまちに誇りや愛着を持てる取組みを進めることは、将来、ふるさとへの想いを持ち、ふるさとに貢献してくれる人材を輩出することにつながると信じています。

学校や家庭や地域、あるいは行政や企業と一体となって、子ども一人一人の個性を踏まえながら、市民総ぐるみで、本市の未来を担う子どもたちの心の中に、シビックプライドを醸成する取組みを進めていきたいと考えています。